

委員12名からの質疑

長浦 由実【金沢地区支部】

北陸新幹線敦賀開業時における雇用不安を無くすためにも乗務員運用について示してほしい。特に車掌については様々な将来の選択肢が取れるように配慮していただきたい。

・会社の各施策と働き方について。主管課の社員が忙しいのか、会社が導入した施策が現場任せになっているのではないか。支社で働く組合員の負担軽減を図ることにより現場で働く社員の負担軽減に繋がるのでは是非お願いしたい。

藤川 貴司【糸魚川地区支部】

・連盟大会は遠方からの参加であると交通費がかさむので全額会社負担もしくは自由席代用証が使用できるように検討していただきたい。

・第3セクター開業に伴い香典を渡し難いため、香典立替や給与天引きの手段を検討していただきたい。

・各種試験のあり方について。試験日程が少ない。社員がチャレンジし易いよう予備日の設定や配慮してはどうか。

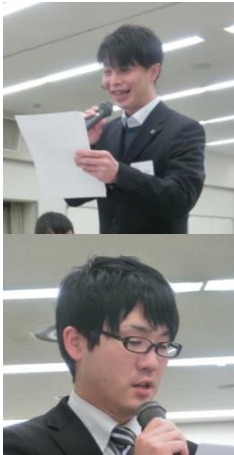
・JR東日本のようにMVで購入券を使用し割引の切符を購入できるようにして欲しい。

・作業責任者手当の増額と書類作成の簡素化、各種危険手当を定める。

・本部大会を盛り上げるためにも傍聴者の旅費、宿泊など本部・地本の補助をお願いしたい。

川上 光【七尾地区支部】

・駅係員の今後について。機械化や新入社員が入ってこないなど、将来への不安の声が上がっている。



前田 拓也【金沢地区支部】

・電気職場の人員配置について、円滑な業務の遂行や技術継承のため要員体制の改善、社員配置を考慮すべき。組合側にも教授いただきたい。



安部 宏貴【敦賀地区支部】

・敦賀〜米原・近江塩津方面のワンマン運転時、ダイヤ改後の米原・近江塩津での接続案内情報を指令が確実に把握してほしい。現在は車掌による臨機応変な対応をしているが、ワンマン時でもきちんと対応できるように対策を取っていただきたい。

・長浜駅に安全確認のため駅員配置を希望する。

・マスクを着用したい場合でもマスクを着用してはならないという風潮がある。また、春闘勝利を祈念する。

村椿 誠【金沢地区支部】

・六年連続のベースアップとエリア手当の増額に向け春闘勝利を祈念する。

・契約社員の客室乗務員の今後の考え方について教えていただきたい。また全契約社員の社員化を求める。



中村 真也【金沢地区支部】

・ダイヤ改正以降、サンダーバードの増結が当初予定していたよりも増えるという話を聞いている。増結編成が増えることサービス機器や故障の際の対応に支障が出る恐れがある。

そのためのOSとの兼ね合いも考え、使用の際には精査していただきたい。

帰山 知也【支社支部】

・昨年は自然災害が多かった。大阪北部地震においては迂回路の無い踏切の長時間鳴動により救急車の到着に7〜8倍の時間がかかった。これを受けて国土交通省より全国的にも同様の踏切がないか調査するように依頼があった。調査には事業者と警察消防の有事の際のあり方と連携を模索している状態であるが、各所で事前に調整を行わず簡単に民間に対策を求めてくる国の姿勢はいかがなものか。

・ハラスメントはSOSを出しにくいので管理者側でもハラスメントが無いよう、また把握するように心掛けていただきたい。



岡本 裕太郎【金沢地区支部】

・異常時における英語放送の在り方について。翻訳機の設置や通訳スタッフの配置などインバンドに力を入れているが、異常時における訪日外国人旅客への放送が現状に則していない。異常時にはお客様対応の合間に手を止めて十分間隔で外国語放送することは困難であり現実的ではない。現場で働く社員の大きな負担になっているので改善を求める。

・現在加賀等間駅・西金沢駅・野々市駅には無人時間帯に金沢駅の在来輸送に繋がるお客様連絡用電話が設置されているが、問い合わせの内容は殆どが切符についてであり方を見直ししてほしい。

・お客様の声で、回答不要のものはデータベースへの入力不要としていただきたい。

金田 華子【運転部会】

・ダイヤ改正におけるワンマンの大幅拡張は安全確保されているのか。

・新学期には新入生により毎回遅れが発生する。ワンマン時にはさらなる乗車マナーの対策が必要である。

・ワンマン時の運転士行路について。ダイヤ改正により労働時間が増加し睡眠時間が少なくなる点が問題である。



合田 陽一【高岡地区支部】

・40・47系の車両改造の整備計画。そもそも全ての車両に適用されるのか教えていただきたい。また、古い車両の改造を繰り返すのであれば新車の導入も検討していただきたい。

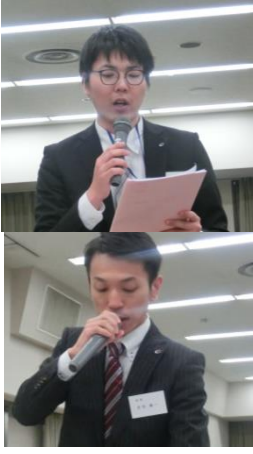
山崎 雄也【富山地区支部】

・作業ダイヤについて。富山駅の暫定泊まり勤務の出札4番を正式に泊まり勤務としてほしい。

・臨時勤務について。グループ活動・小集団活動は自主的な参加であることの確認をしていただきたい。

・高山線キハ20系の部品の確保とジャンパー部の連結が辛いことが問題である。高山線のIC導入とインバウンド対応のため富山駅にICDを設置してもらいたい。

・春闘勝利を祈念する。



集約答弁

安全の取組みについて
労使で築いた安全考動計画(二〇二二)の完遂に向け、チェック・提言機能を研ぎ、全員参加で安全対策を強化する。3月16日ダイヤ改正が行われる検証を行い安全安定輸送に努めるよう要請する。昨年、JR西日本連合金沢地方本部「拡大安全対策委員会」を開催し、グループ会社の視点からも安全について議論が出来ている。

奮闘について

グループ会社の相乗効果も発揮できるよう、賃金アンケートも最高の回収率であった。全員参加の運動を通じて二〇一九春闘生活闘争に勝利目指し、JR西日本グループに働く者の賃上げ・生活改善を実現するため、積み残した要求実現に向けて、今後、各春闘集会を開催し積極的な参加で、できるだけ多くの組合員で取り組みを強化する。

組織対策について

分次活動とコミュニケーションを活性化し、ハラスメント防止と組合員に信頼される組織の強化・運動の継承を進める。労働力不足をはじめとする課題に向き合い、組合発の企画提案運動の強化も必要である。男女平等参画、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革を推進も必要である。金沢地本として、北陸新幹線敦賀延伸により、支部・分会体制を整理していく必要もある。

北陸新幹線について

さまざまな課題に対して、金沢開業の経験を活かし、これまでよりも早めに対応できるよう議論を進めていく。将来にわたり働き続けられるよう、安全を基礎に西労組として雇用確保を大前提に取り組んで行く。

政治参加について

働く者の立場から政策を実現し将来を築く。西労組の声を政治の場に届けるためにも全組合員に最大限の取り組みを要請する。

